2026年市民向け認知症映画上映会



父と僕の終わらない歌

出演：寺尾聰／松坂桃李／佐藤栞里／大島美幸／齋藤飛鳥
ディーン・フジオカ／三宅裕司／門松大介／石倉三郎／佐藤浩市／松坂慶子／副島淳

監督:小泉徳宏　原案:サイモン・マクダーモット　脚本:三嶋龍朗 小泉徳宏　製作:永山雅也 門屋大輔 菊池貞和 桑原勇蔵 長瀬俊二郎
坂本裕寿 松本光司 嶋田充郎　エグゼクティブプロデューサー:福家康孝　プロデューサー:渡久地翔 佐原沙知 巣立恭平 小柳智則
撮影:柳田裕男　照明:宮尾康史　録音:赤澤靖大　美術:五辻圭　装飾:前田亮　ヘアメイクディレクション:古久保英人　ヘアメイク:菊地由美子
ヘアメイク（松坂慶子専属）:崎山彩実　スタイリスト:新崎みのり　スタイリスト（松坂慶子専属）:安野ともこ　サウンドデザイン:大河原将
VFXプロデューサー:長井由実　編集:穂垣順之助:音楽:横山克　助監督:吉田和弘 權徹　スクリプター:堀菜々子　制作担当:矢口篤史

2025年製作／93分／G／日本　配給：ソニー・ピクチャーズエンタテインメント／日活

世界中に笑顔と希望を届けた感動の実話。アルツハイマーの父とその息子が奏でた奇跡。

12.12(土)

開演13:30～

開場12:30～　16:00終了予定

参加無料
定員300名

映画の前に「認知症について」

認知症医療センター（国立病院機構大牟田病院）
センター長　栄　信孝（脳神経内科医師）

・映画上映・認知症相談会・認知症関連資料展示

＊参加希望の方は会場へ直接お越しください。体調不良の方はご遠慮ください。



水の郷ホール

柳川総合保健福祉センター
（柳川市上宮永町6番地3）

【アクセス】●西鉄柳川駅よりタクシーで約5分
●西鉄柳川駅よりバスで約10分
「水の郷前」下車

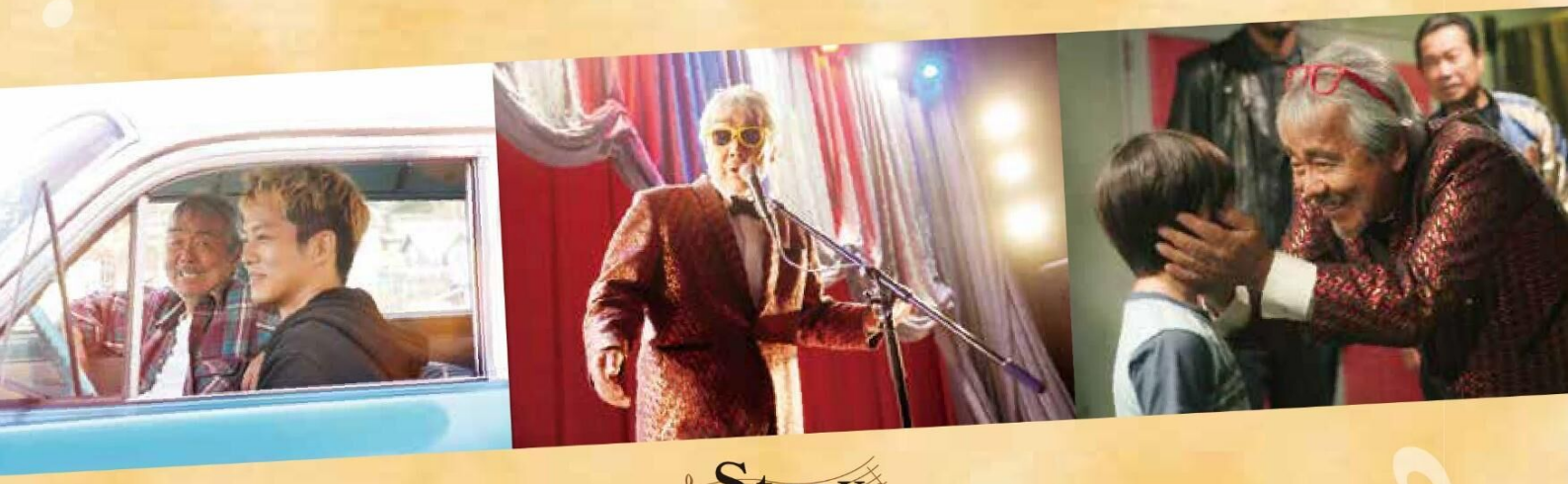
※駐車場には限りがありますので公共交通機関をご利用ください。

主催/福岡県認知症医療センター（国立病院機構大牟田病院）
共催/柳川市　後援/みやま市・大牟田市・福岡県医師会

問い合わせ先/ 福岡県認知症医療センター
Tel・Fax 0944-58-7265

認知症医療センター（国立病院機構大牟田病院）

福岡県認知症医療センター（国立病院機構大牟田病院）が主催で、今年度も認知症映画上映会を開催いたします。内容は、認知症の講話と映画『父と僕の終わらない歌』になります。この機会に、認知症について理解していただける機会となるようご案内いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。



Story

若き日に諦めたレコードデビューを夢見たものの、その夢をあきらめた父さん。横須賀で楽器店を営みながら、時折地元のステージで歌声を披露しては喝采を浴びてきた。僕はそんな父さんが好きだった。
だが、ある日アルツハイマー型認知症と診断されてしまう。すべてを忘れゆく父さんを繋ぎとめたのは、強く優しい母、強い絆で結ばれた仲間、そして父さんが愛した音楽だった―。
大好きな歌を歌う時だけ、いつもの父さんが戻ってくる。父さんの夢は僕ら家族の、皆の夢となって再び動き出す。



【解説】
ドライブの車の中で楽しげに歌う親子。アルツハイマーになった父と、その息子が起こした奇跡の実話―
2016年にイギリスで1本の動画をきっかけに80歳にしてCDデビューを果たした男性の奇跡の実話をもとに、「タイヨウのうた」「ちはやふる」シリーズの小泉徳宏監督がメガホンをとり、舞台を日本に置き換えて映画化した。脚本は、実写版「シティーハンター」の三嶋龍朗が小泉監督と共同で脚本を手がけた。

福岡県認知症医療センター

国立病院機構大牟田病院は、福岡県から2011年11月15日付で「福岡県認知症医療センター」の指定を受け、事業を行っています。
当センターは、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症に関するご相談をお受けし、認知症のあるご本人・ご家族が住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう、支援することを目的としています。

事業内容

- 「もの忘れ外来」での認知症の有無の判定
- 認知症の病型診断や治療方針の確認
- 認知症の方の合併症や周辺症状への対応
- 認知症に関する相談受付
- 認知症に関する研修会の開催
- 認知症の啓発活動
- 診断後等支援
- アルツハイマー病の抗アミロイドβ抗体薬に係る治療・相談支援等機能

もの忘れ外来　＊要予約

☎0944-58-1122（脳神経内科外来）
平日 13:00 ～ 16:00（土日祭日は除く）

認知症に関する相談（電話・面談）

☎0944-58-7265（認知症医療センター）
平日 9:00 ～ 17:00（土日祭日は除く）

問い合わせ先
福岡県認知症医療センター
（国立病院機構大牟田病院）
TEL FAX 0944-58-7265